

# NPSの測定・分析の基本と 分析結果を活用した商品・サービスの改善

~ネット・プロモーター・スコアを用いた改善課題の抽出、優先順位付~

■日 時■ 2017年5月22日(月) 10:00~11:30

■会 場■ 企業研究会セミナールーム(東京・麹町)

■講 師■ マーキットワン㈱ 取締役 COO 望月 俊成 氏

【講師紹介】サンダーバード国際経営大学院修士課程(MBA)修了。ダイレクトマーケティング会社にて、化粧品会社、自動車会社の CRM 支援。ニューロマーケティング会社での生体反応を活用したマーケティングサービスの事業展開に携わり、2015 年に家業のシステム開発会社である、(株)コンピュータマインド社へ入社。新規事業として、顧客ロイヤリティ指標 NPS を基に顧客の声を見える化するクラウドサービスを立ち上げる。2016 年に新規事業をマーキットワン(株)として分社化。現在、取締役として、事業拡大に注力している。

### 

製品やサービスが、顧客にどのように受け止められているかを計測する指標として、NPS (ネット・プロモーター・スコア)があります。「友人や同僚に進める可能性はどのくらいあるか?」というシンプルな質問で行うこの調査方法は、アップルやGE、レゴといった海外の会社で導入されて、商品やサービス改善に効果を上げています。本セミナーでは、ネット・プロモーター・スコアの調査方法を行う場合の調査方法と、その結果をどのようにプロットして、分析結果を読み解き、課題の優先順位付を行うかなどについて解説します。

〈プログラム詳細は裏面をご覧ください〉

#### ●受講料●1名〈税込み、資料代含む〉

正会員	5,400 円 本体価格 5,000 円	
- 般	16,200 円 本体価格 15,000 円	

- ●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。 後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書 をお送り致します。
- ●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号 をお間違えないようご注意下さい。
- ●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な 点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→ 〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。
- ●お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしか ねますので、お申込者がご出席できない場合には、代理 の方のご出席をお願い申し上げます。
- ●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただくこともありますので、ご了承下さい。

#### 一般社団法人企業研究会

担当:倉島 E-mail: kurashima@bri.or.jp

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 2F

TEL 03-5215-3515 FAX 03-5215-0951

### 一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

\*当会ホームページ(http://www.bri.or.jp)からもお申込みいただけます。
\*FAXでご送信いただく際は、FAX番号をお問違えないようご注意ください。

<u>  *FAXでこ送信いたたく際は、FAX番号をお間遅えないようこ注息くたさし</u>								
17115	2-0101	*			2017.5.22			
申込書 自社で行うNPSの測定・分析の基本と								
	分析結果?	を活用した商	品・サー	-ビスの	)改善			
会社名	フリガナ							
住 所	Ŧ							
ご氏名	フリガナ		所 属 役 職					
TEL			FAX					
E-mail								

<sup>\*</sup>お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に 利用させて頂きます。

# NPSの測定・分析の基本と 分析結果を活用した商品・サービスの改善

~ネット・プロモーター・スコアを用いた改善課題の抽出、優先順位付~

5月22日(月)

●プログラム●

10:00

- 1. 顧客ロイヤルティ把握の重要性と既存指標の問題点
  - 1) 顧客ロイヤルティの定義と重要性
  - 2) 既存指標の限界と問題点
  - 3) NPSの特長
    - ・ビジネス指標との強い相関関係
    - ・ロイヤリティ観点での顧客の見える化
- 2. NPS (ネット・プロモーター・スコア) の調査方法と分析
  - 1) N P S の アンケートの 基本的な イメージ
  - 2) 推奨度と各満足度の基本的なプロット
  - 3) 相関分析の具体的な方法
    - ・プロット結果の読み解き方の基本 (課題の優先順位の把握)
    - ・キーワード分析による課題解決の方向性の見定め
- 3. 分析結果を改善につなげる方法
  - 1) NPSを活用した改善のPDCAサイクルの回し方
  - 2) 国内企業の NPS 活用事例

11:30